

北海道総合型SCニュースレター



公益財団法人北海道スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 事務局

令和5年度より不定期で発行しています「北海道総合型SCニュースレター」。遅ればせながら第3号を発行いたします。連絡協議会主催の第2回情報交換会議、JSPPO主催の北海道ブロッククラブネットワークアクション2024の報告です！

令和6年度 第2回情報交換会議 開催

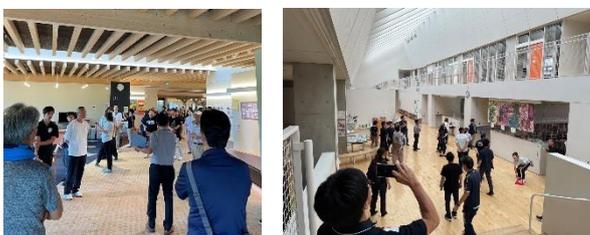
9月7日(土)・8日(日)
@ 沼田町

年に一度の地方開催となった第2回情報交換会議。北斗市に続き、今年度は沼田町教育委員会、一般社団法人N-linkの多大なるご協力を頂き開催致しました。

2日間で延べ130名の方にご参加頂き、大いに盛り上がり、有意義な研修事業となりました。

【 情報提供：「わたしのクラブ・マチ自慢」・町内施設めぐり 】

開催地である沼田町の魅力をたっぷりと伝えていただくプログラムとして、沼田町住民生活課移住定住応援室・大山主査より沼田町独自の暮らしに関する制度や移住促進に向けた取組についてお話いただいた後、一般社団法人N-link、森田代表より「ALL女性」のスタッフで運営するクラブの挑戦についてお話を頂きました。「住みたい田舎ランキング北海道エリア6年連続No.1」を誇る沼田町。お二人の地元愛溢れるお話からその理由が伺えました。



町内施設めぐりでは、暮らしの安心センター、雪の科学館、沼田学園（小学校）を見学。中でも、「医療」「福祉・子育て」「介護」の3つの要素を1つに集約した暮らしの安心センターの構想や設備のすばらしさに、多くの参加者が興味津々で、たくさんの質問が寄せられていました。

【 ブロック対抗運動会！ 】

今年は参加者が道央・道南・道北・道東の4ブロックに分かれ運動会を行いました。進行はもちろんN-linkの皆さん！ 運動会定番の種目をはじめ、昨年の若者プロジェクトで考案された「HA・KI・MO・NO」やN-linkオリジナル種目などなど、なんと合計8種目！！「もう無理！限界！」の声が飛び交うも、さすがは総合型クラブ関係者。やるようになったら全力投球！最後の種目まで大いに盛り上がりました。



ダントツ優勝の道北チームには沼田町の美味しいお米が。準優勝の道南チームにはカルビー契約農家さんのジャガイモが贈呈されました。更に沼田町産トマトを使った美味しい美味しいケチャップとトマトジュースのセットが参加賞としてプレゼントされ、全員が大満足の運動会となりました。

【 部活動の地域移行～北海道の広域モデルを考えよう！～ 】

2日目は、総合型地域 SC メンバーに加え、北空知（沼田町・秩父別町・妹背牛町・雨竜町・北竜町・深川市）の学校関係者、教育委員会担当者の方々にも多数ご参加頂き、北空知の取組をベースに部活動の地域移行における広域連携についてグループディスカッションを行いました。

北海道において、部活動地域移行のみならず、今後の地域スポーツ振興を進める上で広域連携は重要なテーマの一つ。各地域のステークホルダーが連携するだけでなく、近隣市町村がタッグを組んで地域住民のスポーツ環境を整えるために何が必要なのか。できないことを悲観するのではなく、何か一つでもできること、取り組んでいけることをと、前向きな議論が進められていました。



2日間のプログラムを終え、ご参加頂いた皆さんから多く寄せられていたのが、主管を務めて下さった、N-linkのスタッフによる数々のおもてなしに対する感激と感謝の声。地域に愛され求められるクラブである所以がこの2日間に凝縮されていた気がします。N-linkの皆さん、沼田町の皆さん、どうもありがとうございました。

メインテーマ【 あらためて次代のスポーツ環境を考える ～しくみづくりと人づくり～ 】

日本スポーツ協会が主催し、全国9ブロックで開催される本研修会。今年度の全国共通テーマは「次代の人材確保・育成について」。総合型クラブをはじめ、地域スポーツ振興においてこのテーマは長年課題として挙げられています。

北海道ブロックでは、金沢星稜大学の西村先生、東海学園大学の井澤先生をお迎えし、北海道教育大学若見沢校・山本理人先生のコーディネートのもと、パネルディスカッションを開催。総合型クラブの内側と外側からの視点で人材「確保」と「育成」の様々な課題を提起頂いた後、グループディスカッションを行い、それぞれの地域やクラブで抱える課題や取組について意見交換をしました。

2日目は、昨年度から取り組みを始めた「若者プロジェクト」。今年は生みの親でもある西村先生に見守られながら、『アスリートのセカンドキャリアについて考える～次代の人材確保・育成の可能性～』をテーマに趣向を凝らしたプログラムを展開。「アスリートと連携した持続可能な事業」や「若者をスタッフとして確保するための事業展開」をグループで話し合い、プレゼンに対して三人の先生方がジャッジする『若者の虎』を企画。参加者のアイデアに加え、先生方からのフィードバックによりとても充実した内容となりました。

企画から当日まで各ブロックから選出された8名の若者たちが今年も新たな風を起こしてくれました。「北海道の未来は明るい！」そんな風に感じることでできた2日間でした。

北海道ブロック クラブネットワークアクション 2024

11月9日(土)・10日(日)
@ 北海きたえーる



【編集後記】 第2回情報交換会議でのN-linkの皆さんの心温まるおもてなしと笑顔溢れる活動の様子。そして、ネットワークアクションで緊張しながらも一生懸命前向きに取り組む若者たちの姿… どちらもキラキラと輝いていて、こんな方達が地域にあふれていたら、どんな地域課題も解決できてしまうんじゃないか…と感じたりもしました。地域の宝がイキイキと活躍できる環境整備をこれからも目指していきたいと思えます。(M・K)

